



堀船中だより



居心地のいい学校に

校長 鈴木 格也

ゴールデンウィークが明けて、9日（金）には生徒総会が行われ、いよいよ学校も様々な活動が本格的に動き始めています。16日（金）からの運動会練習、来月は修学旅行、そして運動会当日が予定されています。一日一日、目標に向かって大切に過ごし、充実したものにしたいです。

さて、居心地のいい学校とは、どのようなものでしょうか。一人ひとりが安心して生活ができ、自分自身の存在感や充実感を感じられる場面があると、居心地のいい学校につながると思います。学校は集団生活する場ですから、仲間との関係性の中で、良いこともあれば、些細なことで嫌に感じることもあります。一人ひとりが安心して生活するためには、まずはイジメがないことです。そして、様々なことに対しての不安や焦り、思い込みなどを避け、気持ちを安定させることです。また、一人ひとりが存在感や充実感をもつためには、仲間との関係性の中で、「思いやりの心」と「尊重する心」、「挑戦する心」をもって、日々の生活の中で行動することが必要です。

思いやりの心は、相手の立場になって考えてみることから始まります。日々の給食や清掃などの学級活動、係・委員会活動、部活動などを通して、仲間との関わりの大切さに気付いてもらいたいと思います。もしも、自分のとった言動によって、友達を困らせたり、嫌に感じさせたりしてしまったら、気持ちのいい友達関係は築けません。相手のことを思いやり、助け合う生活の中で、居心地のいい学級がつくられます。仲間との信頼関係を築き、深めてください。

仲間を尊重する気持ちは、仲良くしようとする気持ちがなければ成り立ちません。仲間の声に耳を傾け、お互いの意見や考えの違いを認め合うことから始まります。人は誰しも、希望や喜び、そして悩みをもって生活しています。いつも、自分のことだけを考えるのではなく、他の人のことを考え、行動できたら、どんなに素晴らしいでしょうか。仲間の声に耳を傾け、尊重し、認め合いながら生活することによって、仲間との信頼関係が深まります。

そして、挑戦する気持ちは、自己目標の実現に向けて、諦めずに努力することです。小さな成果でも、それを喜びとして実感することが、充実した気持ちにつながります。また、仲間と力を合わせ、みんなが高め合う気持ちを、運動会やほりふな祭などの集団としての取り組みの中で発揮すると、深まりのある充実感や達成感が得られます。

今は学校改築で、地域から離れた場所にバスで通学する不便さや不安があると思います。学校の中に、自分にとっての居場所があって、居心地のいい場所にしてもらえたらと願っています。そして、“今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校”になると嬉しいです。

今年度も、学級集団の中でなかなか授業が受けられない生徒に居場所（ランチルーム）を用意しています。別室の利用では、校内別室支援員の先生が配置されています。

月 … 小林 益代子 火・木 … 渡辺 晶子 水 … 佐々木 健一 金 … 藤田 由紀子